

関係各位

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

令和 3 年度病虫害発生予察特殊報第 1 号を送付します。

令和 3 年度病虫害発生予察特殊報第 1 号

- 1 病虫害名 フタテンミドリヒメヨコバイ *Amrasca biguttula* (Ishida, 1913)
- 2 発生作物 ナス
- 3 発生確認の経過、発生状況
 - (1) 発生確認の経緯
令和 3 年 5 月、県東部の施設ナスほ場において、葉が黄化する症状が確認され、被害葉上にて翅末端に一对の黒点があるヨコバイが確認された（写真 1、2）。
ほ場から虫体を採集し、農林水産省神戸植物防疫所に同定依頼したところ、本県ではこれまで未確認のフタテンミドリヒメヨコバイであることが判明した。
 - (2) 他府県等での発生状況
国外では、台湾、中国、インドなどに分布し、ナス、トマト、ジャガイモのほかオクラ、ワタ、ハイビスカスの害虫とされている。
国内では、沖縄県のオクラで発生が確認されているほか、平成 17 年（2005 年）に東京都のナス、オクラ、ハイビスカスで本種による被害が報告されている。また、令和 2 年には熊本県のオクラでの発生の報告がある。
- 4 形態・生態
 - (1) 形態
成虫の体長は 2.7～3.2 mm。複眼は白色、頭胸部は黄緑色、上翅は半透明白色で翅の末端に一对の黒点がある（写真 3）。終齢幼虫の体長は 2.4～3.2 mm。全身がほぼ黄緑色で複眼は白色（写真 4）。
 - (2) 生態
雌成虫は、葉脈に黄白色の卵を一度に 15 卵ほど産卵する。卵は孵化直前には灰色がかった黄色になる。卵は 4～11 日で孵化し、幼虫期間は 7～21 日、成虫の寿命は 35～50 日である。
- 5 被害の特徴
幼虫・成虫とも新葉や茎から吸汁する。葉の黄化・奇形を呈し、生育が抑制される（写真 1）。

6 防除対策

- (1) 現時点で、ナスにおいて本種に適用登録のある農薬はない。
- (2) 成虫の侵入を防ぐために、開口部に2mm目以下の防虫ネットを設置する。
- (3) 栽培終了時には、近隣の作物へ本種が移動しないように、蒸し込み処理を行った後に残渣処理を行う。

お問合せは、病害虫防除所（TEL：088-863-1132）または環境農業推進課（TEL:088-821-4861）まで



写真1 被害状況



写真2 寄生状況



写真3 成虫



写真4 幼虫